

特別調査 2026年(令和8年)の経営見通し

問1. 貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い 2. 良い 3. やや良い 4. 普通 5. やや悪い 6. 悪い 7. 非常に悪い

(単位: 件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	0.0	0.6	8.9	43.0	31.0	15.2	1.3
合計件数	0	1	14	68	49	24	2
製造	0	1	5	9	12	6	0
卸売	0	0	1	7	1	0	0
小売	0	0	1	20	17	10	2
サービス	0	0	1	14	12	1	0
建設	0	0	6	18	7	7	0

* 2026年の日本の景気見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が9.5%(前年4.3%)、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)と回答する割合が47.5%(前年60.1%)となった。結果、「良いー悪い」は△38.0となり、1年前の調査(△55.8)と比べて17.8ポイント改善した。業種別では、製造業△36.5(前回△55.9)、卸売業0.0(同△87.5)、小売業△56.0(同△54.7)、サービス業△42.8(同△55.2)、建設業△21.0(同△51.2)となり、1年前の調査と比べて、小売業が若干低下しているが、他の業種は改善している。

問2. 貴社では、2026年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い 2. 良い 3. やや良い 4. 普通 5. やや悪い 6. 悪い 7. 非常に悪い

(単位: 件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	0.0	0.0	6.3	46.8	32.9	12.7	1.3
合計件数	0	0	10	74	52	20	2
製造	0	0	2	15	13	3	0
卸売	0	0	2	4	3	0	0
小売	0	0	0	19	18	11	2
サービス	0	0	3	16	8	1	0
建設	0	0	3	20	10	5	0

* 2026年の自社の業況(景気)見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が6.3%(前年8.6%)、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)と回答する割合が46.9%(前年39.2%)となった。結果、「良いー悪い」は△40.6となり、1年前の調査(△30.6)と比べて10.0ポイント低下している。業種別では、製造業△42.4(前回△38.3)、卸売業△11.1(同△25.0)、小売業△62.0(同△32.2)、サービス業△21.5(同△34.5)、建設業△31.6(同△20.5)となり、1年前の調査と比べて、卸売業、サービス業で改善しているが、他の業種は低下している。

問3. 2026年において貴社の売上額の伸び率は、2025に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 30%以上の増加 2. 20~29%の増加 3. 10~19%の増加 4. 10%未満の増加 5. 変わらない
6. 10%未満の減少 7. 10~19%の減少 8. 20~29%の減少 9. 30%以上の減少

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
合計(構成比)	1.3	0.0	2.5	20.9	46.2	20.2	7.0	1.3	0.6
合計件数	2	0	4	33	73	32	11	2	1
製造	0	0	2	12	12	6	1	0	0
卸売	0	0	0	5	3	1	0	0	0
小売	1	0	0	5	24	15	5	0	0
サービス	0	0	1	4	17	5	1	0	0
建設	1	0	1	7	17	5	4	2	1

* 2026年の自社の売上額見通し(伸び率)は、「増加」が24.7%(前回20.2%)、「減少」が29.1%(前回27.6%)となった。結果、「増加-減少」は△4.4(同△7.4)と、1年前の調査と比べて、3.0ポイント改善している。業種別では、製造業21.2(同△5.9)、卸売業44.5(同△25.0)、小売業△28.0(同△15.0)、サービス業△3.5(同6.9)、建設業△8.0(同△5.0)となり、1年前の調査と比べて、製造業、卸売業で改善しているが、他の業種は低下している。

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. すでに上向いている 2. 6か月以内 3. 1年後 4. 2年後 5. 3年後 6. 3年超 7. 業況改善の見通しは立たない

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	10.8	4.4	12.0	5.7	11.4	7.6	48.1
合計件数	17	7	19	9	18	12	76
製造	4	1	8	2	2	4	12
卸売	2	0	1	0	2	0	4
小売	0	2	6	4	8	4	26
サービス	4	2	1	1	1	1	18
建設	7	2	3	2	5	3	16

* 自社の業況が上向き転換点については、「1年後」が12.0%(前回12.9%)と最も多く、次に「3年後」が11.4%(同2.5%)、「すでに上向いている」が10.8%(同14.7%)、「3年超」7.6%(同6.8%)、「2年後」5.7%(同5.5%)、「6か月以内」4.4%(同6.1%)となった。1年前の調査と比べると、「2年後」が0.2ポイント、「3年後」が8.9ポイント、「3年超」が0.8ポイント上昇し、「すでに上向いている」は3.9ポイント、「6か月以内」は1.7ポイント、「1年後」は0.9ポイント低下している。一方、「業況改善の見通しは立たない」と回答する割合は48.1%で、1年前の調査(51.5%)と比べ3.4%低下し、「業況改善の見通しは立たない」とする企業割合は減少している。

問5. 紙の手形・小切手の利用状況についてお伺いします。政府は、2027年3月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。貴社では、現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。使っている場合はその理由を1～6から、もともと使っていたがやめた場合は現在の主な資金決済手段を7～9から、そもそも手形・小切手自体を使っていない場合は0から、最もあてはまるものを1つだけ選んでお答えください。

※選択肢上の「IB」はインターネットバンキングを指すものとします。

- | 紙の手形・小切手を使っている | 紙の手形・小切手をやめた | そもそも使っていない |
|------------------------|--------------|------------|
| 1. 取引先との慣行で使わざるを得ない | 7. でんさい | 0. 使っていない |
| 2. 経理事務の変更が困難 | 8. IB | |
| 3. コスト面で現状のままが最適 | 9. その他 | |
| 4. でんさい・IB等のセキュリティ面に懸念 | | |
| 5. でんさい・IB等の操作面に懸念 | | |
| 6. その他 | | |

(単位: 件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	32.9	3.8	5.0	1.9	3.2	4.4	3.2	5.7	1.3	38.6
合計件数	52	6	8	3	5	7	5	9	2	61
製造	16	2	2	1	1	1	1	2	0	7
卸売	2	1	1	0	0	0	1	1	0	3
小売	18	3	1	0	1	3	1	2	2	19
サービス	4	0	2	0	2	1	1	1	0	17
建設	12	0	2	2	1	2	1	3	0	15

* 2025年12月時点における資金決済手段の利用状況は、「紙の手形・小切手を使っている」が51.2%となり、半数以上の企業で紙の手形・小切手が残存している結果となった。その要因内訳をみると、「取引先との慣行で使わざるを得ない」が32.9%で最も多く、以下「コスト面で現状のままが最適」5.0%、「経理事務の変更が困難」3.8%、「でんさい・IB等の操作面に懸念」3.2%と続いた。一方で、「紙の手形・小切手をやめた」は10.2%となり、移行後の資金決済手段としては「IB」が5.7%、「でんさい」が3.2%となっている。

～調査員のコメントから～

- 水揚げに左右されるため、在庫負担が大きくなっている。(製造業)
- 今年は昆布が大幅な増産となったが、値段が高く在庫確保が難しくなっている。(製造業)
- 取引先減少により売上は停滞。仕入れ価格上昇により収益性悪化。(卸売業)
- 人材確保の見通しが立たず、将来的に事業転換も考えている。(卸売業)
- 資材高騰により、今後、住宅新築が減少する不安がある。(建設業)
- ドライバーの退職者が増え、支障をきたしている。人材確保ができない状況。(建設業)
- 物価高騰の影響もあり、暖房機器は我慢して使う傾向。入れ替え等は少ない。(小売業)
- 飲食店の減少で卸売りは減少傾向。スーパー等の利用多く来店客も減少。(小売業)
- 漁業者との取引多く、水揚げ不振で売掛金回収に苦慮している。(サービス業)
- 介護部門で資格を持った人材がおらず、未稼働となっている。(サービス業)